

参加無料！WEBセミナー開催

EV急速充電器事業、参入するには今しかない！

～EV市場とインフラ～

「2035年までに新車販売をすべて電動車(電気自動車(EV)、燃料電池車(FCV)、ハイブリッド車(HV)など)にする」との政府方針が示され、日本国内においても普及加速が見込まれております。今後、電気自動車のシェア拡大に伴い、それらを支える充電インフラの拡充が必要となってまいります。

こうした社会的な高い要請を受け、アサヒ衛陶株式会社は「EVスタンド事業」に参入し、充電設備という社会的なインフラ整備の一端を担うこととなりました。その中で、当社は急速充電器及び課金システム等において定評のあるテンフィールドズファクトリー株式会社と当社が独占販売権を有する急速充電EVスタンド機器「A-QUICK(仮称)」に対する課金システムの共同開発と本製品の拡販に関する業務提携を行っております。そこでこの度、日本におけるEV充電設備に関する課題解消に向けた「EV急速充電器事業」に関するWEBセミナーを開催いたします。

開催日時 2023年4月13日(木)
15:00-17:00

参加対象 EV急速充電器の普及にご興味ある経営者、事業開発ご担当、不動産オーナー様等

申込方法

申込フォーム:
<https://forms.gle/HSLH1PwBrks3sbP26>

参加申し込み用
QRコード→



※視聴URLについては、ご登録いただきましたメールアドレスへ後日ご連絡いたします。

日本国内の市場動向

- ・新車販売台数
2022年新車販売台数の1.7%がBEVとなる。(100台に2台がBEV。世界規模では11%)
今後、市場は拡大する見込み。
- ・充電インフラの拡充
電気自動車シェア拡大により充電インフラ需要の高まりが期待できる。
急速充電器設置の日本政府目標：30,000基(現在約8,000基)

—EV急速充電器「A-QUICK(仮称)」を発売—

- 特徴① 定格出力180kW(出力制限 112kW)※
 - 特徴② 従量課金制(従来は分課金制)
- ※日本国内では電圧制限により、112kWの出力となります。

講師紹介

テンフィールドズファクトリー株式会社 代表取締役 市川裕氏

広島県出身。1991年に広島大学経済学部へ入学、社外サークルで代表を務めた際の経験から起業を決意。1995年広島大学経済学部卒業後、同年4月に味の素株式会社入社。営業リーダーとして営業ノウハウを掴んだ後に2002年5月、味の素株式会社を退社。2002年6月にテンフィールドズファクトリーを設立。2002年8月に開始したレンタルサーバー事業を皮切りにダーツ販売・レンタル事業を開始。2007年にテンフィールドズファクトリーを株式会社として法人化。その後、ネイル事業、リフォーム事業、スマートエネルギー事業、ヤギレンタル事業、カフェ事業、不動産事業等、様々な業界に参入。現在は社名に込められた「10」を超える分野での事業を展開。

2023年2月に当社と当社急速充電器製品の課金システムの共同開発と当社急速充電器製品の販売に関して、業務提携を締結。



<主な著書>

さようなら、時代遅れの経営方法。



PHP